

人工肛門・膀胱造設者の 生活と福祉

第1部 第8回オストメイト生活実態基本調査報告書

第2部 オストメイトに対する日常生活用具給付事業
等に関する調査報告書

平成31年3月

公益社団法人 日本オストミー協会

目次

第1部 第8回オストメイト生活実態基本調査報告書

I. はじめに	1
II. 調査結果の概要	2
1. オストメイトの属性	2
(1) 性別	2
(2) オストメイトのストーマ種別	2
(3) 年齢分布	3
(4) 手術後の経過年数	4
2. 日常生活全般について	4
(1) ストーマ装具交換はだれがやっているか	4
(2) ストーマ外来の受診について	5
3. 災害への備え	5
(1) 非常持ち出しの準備状況	5
(2) 分散保管について	6
(3) 災害発生時の避難所に関して	6
(4) 避難所のオストメイト環境の認識	6
(5) 外出時のストーマ装具等の携帯について	7
(6) オストメイト用トイレに関する質問	7
(7) 公衆浴場やスーパー銭湯、旅館・ホテルの大浴場など、公衆浴場の利用状況	8
(8) 温泉・日帰り温泉・銭湯等利用時留意事項	8
4. 身体障害者認定およびストーマ装具給付	8
(1) 身体障害者手帳給付状況	8
(2) ストーマ装具給付券の給付状況	8
(3) ストーマ装具給付額（給付額+自己負担額）	9
(4) 毎月の自己負担額	9
(5) 使用しているストーマ装具の種類	10
(6) ストーマ装具の交換頻度	10
(7) 洗腸関連事項	11
(8) オストミー情報の入手先	12
(9) ストーマに関する社会の理解度	12
(10) オストメイトのことが理解されていないため困ったことがあったか	13
(11) 自分がオストメイトであることを知られてもよい範囲	13
(12) オストミー協会の認知度	14
(13) オストミー協会への要望等（アンケート書き込みより抜粋）	14

Ⅲ. 考察	16
(1) セルフケアの問題 家族のサポート 介護施設入居問題	16
(2) 災害対策	16
(3) 温泉や公衆浴場の利用	17
(4) ストーマに関する社会の理解度	17
(5) カミングアウトの範囲	17
Ⅳ. 謝辞	17
参考資料：第8回オストメイト生活実態調査票（質問票）	18

第2部 オストメイトに対する日常生活用具給付事業等に関する調査報告書

I. はじめに	25
II. 調査結果の概要	26
1. 日常生活用具（ストーマ装具）給付事業	26
(1) 給付基準額	26
(2) 自己負担割合	26
(3) 1回当たりの給付月額	27
(4) 洗腸用具の給付	27
(5) ストーマ用品（アクセサリー）の給付	27
(6) 高齢者入所施設等の入居者への給付	28
2. 災害時のストーマ装具などの供給体制整備	28
(1) オストメイトの避難所	28
(2) 避難所での装具の備蓄等	28
3. オストメイト用トイレの整備	29
(1) 公共施設でのトイレ設置状況	29
(2) トイレの設備	30
(3) 未設置市町村の今後の計画	30
(4) 担当者からのコメント（抜粋）	31
III. 考察と提言	33
1. ストーマ装具（日常生活用具）給付事業	33
(1) 給付基準額と自己負担額	34
(2) 洗腸用具及びストーマ用品（アクセサリー）の給付	34
(3) 高齢者入所施設等の入居オストメイトへの給付	34
2. 災害時のストーマ装具などの供給体制整備	34
3. オストメイト用トイレの整備	35
IV. 終わりに	35

参考資料：

第2回オストメイトに対する日常生活用具給付事業等に関する調査（依頼）	36
第2回オストメイトに対する日常生活用具給付事業等に関する調査（回答書）	37

第 1 部 第 8 回オストメイト生活実態基本調査報告書

I. はじめに

この調査は、我が国のオストメイトを対象に、その生活実態を定期的に反復調査することで、協会活動および政府や地方自治体への施策改善要望の資とすることを目的に当協会の活動として実施されている。

今回の調査は、前回の平成 22 年度調査から 7 年を経過して実施したが、特に過去の調査からの状況変化を考慮し、オストメイトの生活の実態や意識をより一層明確に把握するための設問を追加して実施した。

また、全国的な調査とするために、サンプリングを全国の全都道府県を対象として行なうと共に、従来 of 支部を経由した会員依存のサンプリングを減らして実施した。更に、調査項目の設定には従来継続して依存していた外部の協力を得ず、協会内部で行い、取り纏めについてのみ協力をえた。

調査対象（サンプル）と調査方法

☆ サンプル数 1,300 部

☆ 採用回収数 592 部（回収率 45.5%）

☆ サンプル抽出法 ① 全国の全都道府県のストーマ装具代理店 59 社にそれぞれ数を指定（最大 30 部）、その顧客に合計 1,000 部の調査票の配賦を依頼。
② 協会支部に 300 部の調査票配布を依頼。

☆ 集計サンプル 配布した調査票 1,300 部から 601 部の回答があったが、無記入で調査対象としては不適切なサンプル 9 部を除外して 592 部を集計対象とした。

☆ 質問 質問票によるアンケート方式とし、自由回答は極力避けた。
質問数は基本項目 7 項目、日常生活に関する項目 22 項目、ストーマ装具等 17 項目の合計 46 項目と、前回までの調査に比し、13 問多い調査項目となった。

* サンプル属性 （ストーマ造設年、満年齢、性別、会員・非会員の別、住居都道府県、ストーマ種別、永久・一時の別）

* 日常生活調査についての意識調査 （日常のストーマケア、災害への備え、オストメイトトイレ、入浴）

* ストーマ装具の使用実態、洗腸実態、オストメイトの社会生活での意識調査
（障害者認定・日常生活用具給付、ストーマ装具経費・交換・情報入手、オストメイトの社会的受容、協会への意識）

* 調査期間 平成 29 年 12 月～平成 30 年 2 月（暦月と無関係に 29 年度とする）

II. 調査結果の概要

調査結果はいずれも回答数 592 名を基準にしており、結腸人工肛門を「コロストミー」、回腸人工肛門を「イレオストミー」、人工膀胱を「ウロストミー」、人工肛門と人工膀胱両方の造設者を「W ストーマ」と表記する。なお、数値のほとんどが%表示だが、小数点以下の四捨五入の関係で、合計が 100.0 にならない場合がある。

1. オストメイトの属性

(1) 性別

男性と女性の比率の推移を表 1 に示す。
概ね大きな変化はないとみられる。

※ () 内は非会員のデータを示す。

表 1 性別 【単位：%】

調査時期	男性	女性
今回（平成 29 年）	63 (59)	37 (41)
7 回（平成 22 年）	63 (68)	37 (32)
6 回（平成 19 年）	61	39
5 回（平成 16 年）	64	36
4 回（平成 14 年）	65	35
3 回（平成 11 年）	61	39

(2) オストメイトのストーマ種別

ストーマ種別は表 2 に示すように、前回からみられるコロストミーの比率が漸減傾向にある。また、イレオストミーは会員で大幅に増えている。これはここ数年、本部・支部あがって「若いオストメイトの集い」開催に努力している結果の反映なのか、今後の調査結果に注目したい。

表 2 ストーマ種別 (%) (カッコは非会員) 【単位：%】

調査時期	コロストミー	イレオストミー	ウロストミー	W ストーマ	無回答
平成 29 年	60.4 (60.5)	12.5 (7.2)	19.7 (19.7)	3.2 (5.3)	4.2 (7.2)
平成 22 年	62.6 (55.2)	7.9 (9.8)	19.6 (24.5)	3.1 (2.8)	6.8 (7.7)
平成 19 年	70.6	5.9	17.3	3	3.2
平成 16 年	70.7	5.8	16.6	1.8	5.1
平成 14 年	67.1	5.8	13.4	4.6	9.1
平成 11 年	71.6	4.2	16.4	2.9	4.9

手術後の経過年数別にストーマの種類を表 3 に示す。前回調査ではコロストミーは術後経過年数が長くなるにつれて、全体に占める比率が増加する傾向にあったが、今回の調査では各経過年数に大きな変化は認められない。

表 3 ストーマ種別と術後経過年数 (カッコ内は前回調査) 【単位：%】

術後経過年数	コロストミー	イレオストミー	ウロストミー	W ストーマ	無回答
3 年未満	64.3 (38.8)	10.7 (15.0)	17.9 (30.0)	1.2 (6.2)	6.0 (10.0)
3～5 年未満	60.5 (56.7)	7.9 (3.0)	23.7 (28.4)	5.3 (4.5)	2.6 (7.4)
5～10 年未満	59.8 (60.8)	10.9 (6.4)	19.6 (24.8)	5.4 (4.0)	4.3 (4.0)
10～20 年未満	58.1 (70.0)	12.5 (7.5)	22.8 (17.5)	2.2 (1.9)	4.4 (3.1)
20 年以上	60.9 (76.7)	15.2 (8.6)	15.7 (6.9)	3.9 (1.7)	4.4 (6.1)

(3) 年齢分布

表4の年齢階層別の属性を見ると、全体の平均年齢は69.8歳と前回・前々回調査よりも若干下がっている。これはJOA会員の平均年齢に比して、かなり低い年齢だといえる。これも、表2で提起したごとく、若い世代が、支部活動に参加してきている表れか。また、イレオストミーの平均年齢は59.9歳と若く、60歳未満が40.6%も占めていることも影響している。70歳以上の高齢者割合はWストーマ73.7%と増加傾向になるのに対して、イレオストミーは35.1%の下降傾向にある。ウロストミー64%・コロストミー65%と7年前の前回とほとんど変わらない。

表4 年齢分布 (%) (無回答を除く。カッコは前回データ) 【単位：%】

年齢層 (歳)			40未満	40～49	50～59	60～69	70～79	80以上
属性	平均年齢 (歳)							
全体		69.8 (71.1)	2.4 (1.6)	6.3 (2.1)	8.9 (8.9)	21.1 (25.3)	41.7 (40.7)	19.6 (21.4)
性別	男性	69.7 (71.5)	2.5 (0.9)	6.4 (2.0)	8.1 (7.7)	22.6 (27.5)	40.2 (40.7)	20.1 (21.3)
	女性	69.9 (70.4)	2.4 (2.9)	6.7 (2.4)	9.6 (11.2)	19.1 (20.9)	44.5 (40.8)	17.7 (21.8)
ストーマ種別	コロストミー	71.1 (72.4)	1.4 (0.8)	4.2 (2.0)	9.6 (7.3)	19.7 (24.4)	43.1 (41.4)	22.0 (24.1)
	イレオストミー	59.9 (62.5)	9.5 (11.1)	21.6 (2.2)	9.5 (24.4)	24.3 (20.0)	27.0 (33.4)	8.1 (8.9)
	ウロストミー	72.6 (71.1)	0 (0.9)	0.9 (1.8)	7.0 (6.3)	28.1 (28.8)	43.0 (42.3)	21.1 (19.8)
	Wストーマ	68.7 (65.4)	5.3 (0.0)	10.5 (6.3)	5.3 (18.8)	5.3 (37.5)	57.9 (45.0)	15.8 (0.0)

過去5回の調査結果と比較するために、表5に40歳未満、40～64歳、65歳以上の年齢階層の割合を示した。65歳以上のオストメイトがほぼ75%という高齢傾向は平成後半期で変わらない。

表5 年齢分布の推移 【単位：%】

調査時期	40歳未満	40～64歳	65歳以上	無回答
平成29年	2.4	20.8	75.7	1.2
平成22年	1.6	20.8	76.0	1.7
平成19年	0.5	20.3	77.9	1.4
平成16年	0.5	21.9	73.7	3.9
平成14年	1.1	31.1	67.8	4.9
平成11年	1.5	32.6	64.3	1.7

(4) 手術後の経過年数

7年前までは術後10～20年未満が最多層であったが、今回は20年以上が最多となり、3年未満もわずかながら増加している。

表6 術後経過年数の推移

【単位：％】

調査時期	3年未満	3～5年	5～10年	10～20年	20年以上	無回答
平成29年	14.8	6.6	16.0	23.6	35.6	3.5
平成22年	14.0	11.7	21.9	28.0	20.3	4.3
平成19年	2.6	8.6	23.1	36.5	25.7	3.5
平成16年	7.2	9.5	22.4	36.4	19.4	4.9
平成14年	14.8	9.3	24.1	33.5	13.4	4.9
平成11年	10.9	10.6	23.2	34.1	12.0	9.2

2. 日常生活全般について

(1) ストーマ装具交換はだれがやっているか

問1で「ストーマ装具交換を自分でやっているか」の問いに、「出来ている」が85.1%で、「出来ていない」が12.7%（75名）との回答だった。また、出来ていない人のス

表7（問1）装具交換

【単位：％】

自分で交換	自分以外が交換	無回答
85.1	12.7	2.2

トーマ種別で見るとコロストミーが53%、ウロストミーが28%と、社会適応訓練講習会参加者の傾向から見ると、コロストミーの割合

が多い。これはセルフケアができていないと回答した人の年齢が「75歳以上」と回答した人が50%を超えている事から、以前はできていたが、できなくなったのか、ストーマ造設から間がなくて、出来ていないのか、今後の見極めが必要である。

表8（問1）セルフケア出来ない種別

【単位：％】

コロストミー	ウロストミー	イレオストミー	Wストーマ	無回答
52.7	28.4	6.8	4.0	8.1

問2セルフケアができない人に「誰にやってもらっているのか」の問いに「同居の親族」との回答が、73.3%だった。「その他」への回答を含めて今後の推移を見極める必要がある。

表9（問2）日常のストーマケアをしている人

【単位：％】

同居親族	別居親族	訪問看護	デイ看護	介護職	入所施設	その他
73.3	5.3	9.3	2.7	2.7	4.0	2.7

問3で「セルフケアができなくなった時の対応」を聞いている。

決めていないが57.7%、決めているが32%という回答だった。決めていると回答した中で「家族と相談して決めた人」は、その65%が同居親族にケアを頼むとの回答だったが、「自分で決めた人」はその70%が訪問介護サービスあるいは施設入居と回答している。

表 10 (問 3) セルフケアが出来なくなった時の対応 【単位：％】

家族と相談	自分で決めた	きめてない	分らない	無回答
18.3	13.7	57.7	6.5	3.8

表 11 (問 3 - 2) セルフケアができなくなった時だれに頼むか 【単位：％】

同居人	別居親族	訪問看護・訪問介護	施設入居	その他	無回答
26.4	3.2	13.2	13.2	3.5	41.5

(2) ストーマ外来の受診について

問 4 のストーマ外来受診の有無については、回答者の約 55% が受診の経験があると回答している。

表 12 (問 4) ストーマ外来受診 【単位：％】

定期受診	時々受診	無受診	無回答
32.3	17.4	41.0	9.3
55.0		45.0	—

また、問 4 - 2 の受診経験者の満足度では、「満足している」との回答が、77% を超えている。

表 13 (問 4 - 2) 受診満足度 【単位：％】

満足	不満	どちらでもない	無回答
77.2	5.1	12.6	5.1

3. 災害への備え

(1) 非常持ち出しの準備状況

約 6 割が非常持ち出しを準備していると回答しているが、3 割以上がまだ準備していない状況ともいえる。

表 14 (問 5) 非常持ち出し 【単位：％】

準備している	準備していない	無回答
59.3	32.8	7.9

問 5 - 2 で「非常持ち出しにストーマ装具等が入っているか」の問いに、「入っていない」との回答が、7.1% もいることが分かった。

表 15 (問 5 - 2) ストーマ用品 【単位：％】

入っている	入っていない
92.9	7.1

問 5 - 3 で非常持ち出しに入れているストーマ関連用品について回答を求めたところ、次表の通りの結果であった。

表 16 (問 5 - 3) 非常持ち出しに入れているストーマ関連用品 【単位：％】

装具	剥離剤	クリーム	コットン	ティッシュ	ゴミ袋	消臭剤	ハサミ	装具メモ	その他
98.8	76.4	57.1	39.3	84.4	71.8	41.1	57.1	39.9	12.3

何日分準備しているかの問いに、最大 60 日分、最小 1 日分との回答があり、平均値は 15.6 日分であった。

(2) 分散保管について

表 17 (問 6) 分散保管の有無 【単位：％】

分類	している	していない	無回答
全体	39.9	50.8	9.3
会員	45.2	47.5	7.3
非会員	29.6	57.9	12.5
不明	31.6	54.4	14.0

回答から会員の「分散保管」に関する有意差が見て取れる。これは各種講習会等で分散保管に関する知識が共有されている表れだと考えたい。

表 18 (問 6 - 2) 分散保管場所 【単位：％】

自宅内	親戚・友人	公共施設	その他	無回答
63.3	7.5	11.2	17.0	1.0

分散保管場所として公共施設と回答した人が 11.2%であった、これはオストミー協会が進めている、「避難所に自分の装具保管活動」の成果だと推察される。

(3) 災害発生時の避難所に関して

災害発生時避難場所がどこかわかっている人が 75%いた。反対に無関心（自分は災害に合わないと考えている）人が無回答を含めるとまだ 25%もいるといえる。

表 19 (問 7) 避難場所 【単位：％】

知っている	知らない	無回答
75.0	16.4	8.6
75.0	25.0	

(4) 避難所のオストメイト環境の認識

① オストメイト用トイレ環境

表 20 (問 7 - 2 ①) 【単位：％】

整っている	整っていない	わからない	無回答
19.1	35.1	43.1	2.7

② ストーマ装具交換環境

表 21 (問 7 - 2 ②)

【単位：％】

整っている	整っていない	わからない	無回答
5.6	37.4	49.1	7.9

①②ともわからないと回答した人が何方も 40％を超え、避難所に対する、事前調査不足（関心のなさ）を示している結果となった。

(5) 外出時のストーマ装具等の携帯について

表 22 (問 8) 外出時のストーマ装具等の携帯について

【単位：％】

常に携帯	遠方外出時	携帯していない	わからない	無回答
42.1	38.6	12.2	0.0	7.2

(6) オストメイト用トイレに関する質問

①オストメイト用トイレを知っているか

表 23 (問 9 - 1)

【単位：％】

知っている	知らない	無回答
78.4	13.5	8.1

②オストメイトトイレ利用状況

表 24 (問 9 - 2)

【単位：％】

よく利用	時々利用	利用しない	無回答
17.6	30.8	38.1	13.5

③利用しない理由

表 25 (問 9 - 3) オストメイト用トイレを利用しない理由

【単位：％】

必要ない	周囲の目が気に	使い方が不明	その他	無回答
24.2	6.7	8.1	19.2	41.8

④トイレ利用目的（複数回答）

表 26 (問 9 - 4)

【単位：％】

排泄物処理	装具洗浄	装具交換	その他	無回答
84.6	20.4	22.1	5.4	1.8

よく利用・時々利用が 48.4 パーセントとなり、今後の増加が期待される。利用目的で 85 パーセント以上が排せつ目的であり、汚物流しの設置が必須と考えられる。

(7) 公衆浴場やスーパー銭湯、旅館・ホテルの大浴場など、公衆浴場の利用状況

表 27 (問 10) 温泉・日帰り温泉・銭湯等の利用 【単位：％】

利用する	利用しない	無回答
42.4	36.0	21.6

(8) 温泉・日帰り温泉・銭湯等利用時留意事項

表 28 (問 10-2) 公衆浴場の利用時留意事項 【単位：％】

	はい	いいえ	無回答
ストーマ装具を装着して入浴	89.6	3.6	6.8
ストーマ装具内の汚物を捨ててから入浴	84.1	3.6	12.4
洗い場でストーマ装具を交換する	3.6	82.9	13.5
洗い場でストーマ装具を洗浄	3.6	82.9	13.5
装具が目立たないようにシートやタオル等で隠す	81.7	10.4	8.0

マナー上依然としてストーマ装具を装着しないで入浴したり、装具を洗い場で洗浄する人がいる。

4. 身体障害者認定およびストーマ装具給付

(1) 身体障害者手帳給付状況

今回の調査結果ではもらっている人の比率が前回より低い結果となった。

表 29 (問 1) 身体障害者手帳交付状況 () 内は非会員 【単位：％】

調査時期	もらっている	もらっていない	無回答
平成 29 年	83.4 (82.2)	2.1 (1.5)	14.5 (13.8)
平成 22 年	97.2 (96.5)	1.9 (3.5)	0.9 (0.0)
平成 19 年	98.2	1.5	0.3
平成 16 年	97.2	2.3	0.5
平成 14 年	95.5	4.1	0.4
平成 11 年	94.1	5.3	0.5

(2) ストーマ装具給付券の給付状況

ストーマ装具給付券給付状況が調査年限を経るごとに上昇している。

表 30 (問 2) ストーマ装具給付券給付状況 () 内非会員 【単位：％】

調査時期	もらっている	もらっていない	無回答
平成 29 年	98.2 (98.4)	1.8 (1.6)	0.0
平成 22 年	91.2	7.9	0.9
平成 19 年	83.3	13.7	2.9
平成 16 年	78.9	18.3	2.8
平成 14 年	80.6	17.7	1.7
平成 11 年	72.7	25.9	1.4

表 31 (問 2) 給付券給付状況とストーマ属性 () 内は前回調査 【単位：％】

ストーマ種別	もらっている	もらっていない
全体	93.4 (92.0)	6.6 (8.0)
コロストミー	98.3 (92.0)	1.7 (8.0)
イレオストミー	100.0 (98.6)	0.0 (11.4)
ウロストミー	96.8 (93.7)	3.2 (6.3)
W ストーマ	94.1 (93.7)	5.9 (6.3)

(3) ストーマ装具給付額 (給付額+自己負担額)

表 32 (問 3 - 2) ストーマ装具費用 /1 か月 () 内は前回数字 【単位：％】

補装具費用 (月)	全体	コロ	イレオ	ウロ	W ストーマ
全くかからない	4.4 (3.3)	4.5 (4.7)	5.2 (0.0)	2.1 (1.0)	12.5 (0.0)
かかる	95.6 (93.9)	95.5 (95.3)	94.8 (100)	97.8 (99.0)	87.5 (100)
5 千円未満	8.7 (12.4)	8.9 (15.1)	10.3 (4.8)	7.6 (8.0)	6.3 (6.7)
5 ~ 10 千円未満	30.3 (34.9)	31.2 40.8)	34.5 (35.7)	27.1 (21.0)	18.8 (13.3)
10 ~ 15 千円未満	35.2 (29.9)	33.6 (26.4)	36.2 (31.0)	37.0 (48.0)	50.0 (0.0)
15 ~ 20 千円未満	13.1 (8.3)	12.7 (5.4)	8.6 (11.9)	17.4 (10.0)	12.5 (20.0)
20 ~ 25 千円未満	3.3 (7.3)	3.1 (6.0)	0.0 (14.3)	6.5 (7.0)	0.0 (33.1)
25 千円以上	5.0 (3.9)	6.2 (1.7)	5.2 (2.4)	2.2 (5.0)	0.0 (33.1)

(4) 毎月の自己負担額

表 33(問 3 - 2) 毎月の自己負担額(無回答を除く。カッコは前回データ) 【単位：％】

給付不足額 (月)	全体	コロストミー	イレオストミー	ウロストミー	W ストーマ
間に合っている	34.7 (27.3)	36.0 (28.5)	28.3 (17.9)	33.7 (24.7)	41.2 (41.2)
間に合っていない	65.3 (72.7)	64.0 (71.5)	71.7 (82.1)	66.3 (75.3)	58.8 (58.8)
2 千円未満	13.6 (19.9)	13.8 (22.7)	21.7 (17.9)	10.1 (18.0)	0.0 (11.8)
2 ~ 3 千円未満	12.2 (14.4)	11.3 (13.3)	10.0 (17.9)	10.1 (18.0)	0.0 (11.8)
3 ~ 4 千円未満	9.1 (8.6)	8.0 (8.6)	10.0 (15.4)	12.3 (7.9)	5.9 (0.0)
4 ~ 6 千円未満	10.7 (9.3)	12.4 (9.4)	8.3 (0.0)	5.6 (12.4)	17.6 (11.8)
6 ~ 8 千円未満	4.1 (5.3)	3.6 (5.1)	3.3 (5.1)	6.7 (6.7)	0.0 (0.0)

8～10千円未満	6.3 (5.3)	5.1 (4.3)	8.3 (10.3)	7.9 (5.6)	11.8 (0.0)
10～15千円未満	5.2 (5.7)	5.8 (5.5)	5.0 (10.3)	4.5 (4.5)	0.0 (0.0)
15千円以上	4.1 (4.3)	4.0 (2.7)	5.0 (7.7)	3.4 (2.2)	5.9 (29.4)
平均不足月額(円)*	3,364 (3,238)	3,344 (3,104)	4,608 (3,998)	2,670 (2,557)	2,764 (10,616)

*各範囲〔中間値×人数〕を「間に合っていない」人数で割り算

全体的に不足月額が増加傾向にある。特にイレオストミーは他のストーマ種別に比して不足金額が高い傾向が続いている。これはJOAとして、「イレオストミーの給付月額増額」を国に要求しているが、その必要性を裏付ける結果となっている。

(5) 使用しているストーマ装具の種類

表34(問4)使用しているバッグのタイプ

【単位：％】

バッグのタイプ	平成30年				平成29年	平成22年	平成19年	平成16年
	コロストミー	イレオストミー	ウロストミー	Wストーマ	全体	全体	全体	全体
二品系	66.0	46.8	47.3	36.3	59.1	57.5	55.9	56.8
単品系	28.4	46.8	46.2	47.1	34.6	42.5	44.1	43.2
両方	5.3	6.5	5.5	17.6	5.7			
不使用	0.3	0.0	1.1	0.0	0.6			

(6) ストーマ装具の交換頻度

表35(問5)ストーマ装具(面板)の交換頻度：年度別

【単位：％】

交換頻度	>2回/日	1回/日	1回/2日	1回/3日	1回/4日	1回/5日	1回/6日	1回/週	其以上	不使用	無回答
平成29年	1.3	6.4	13.7	33.1	22.0	11.1	4.4	5.2	0.2	0.7	2.0
平成22年	4.4	13.5	17.3	25.2	15.2	8.6	2.6	3.1	1.4	1.0	7.7
平成19年	8.2	17.2	17.9	21.6	12.8	5.8	2.4	3.6	0.9	1.7	7.9
平成16年	9.5	19.4	18.2	16.3	10.4	7.6	1.6	4.1	3.2	2.3	7.4
平成14年	8.1	21.1	16.3	17.0	12.5	7.9	4.0	3.8	2.0	2.3	4.9
平成11年	12.3	22.2	13.7	14.0	9.4	5.7	2.0	3.6	1.9	2.5	11.8

表36(問5)ストーマ装具(面板)の交換頻度：性別・ストーマ種別

【単位：％】

交換頻度		>2回/日	1回/日	2日/1回	3日/1回	4日/1回	5日/1回	6日/1回	週/1回	それ以上	使用しない
ストーマ種別	全体	1.3	6.5	14.1	34.0	22.6	11.4	4.5	5.4	0.2	0.7
	コロストミー	2.5	8.6	19.2	32.8	20.3	7.8	2.2	5.8	0.0	0.8
	イレオストミー	0.0	8.2	9.6	41.1	17.8	13.7	6.8	2.7	0.0	0.0
	ウロストミー	0.0	1.7	3.4	31.4	26.3	23.7	7.6	5.1	0.0	0.8
	Wストーマ	0.0	0.0	4.8	9.5	42.9	9.5	19.0	14.3	0.0	0.0
性別	男性	1.1	6.5	11.7	34.0	21.2	11.7	6.0	7.1	0.3	0.5
	女性	2.3	6.5	18.1	33.8	24.1	9.3	2.3	2.8	0.0	0.9

使用装具は二品系で、交換頻度は3～4日に1回が、ストーマ別・男女別を問わず最多比率となった。

(7) 洗腸関連事項

表 37 (問 6) 洗腸実施者：術後経過年数別と年齢別 【単位：％】

	平成 29 年	平成 22 年	平成 19 年	平成 16 年
術後 3 年未満	16.5	10.3	11.1	23.3
術後 3～5 年未満	15.8	12.9	16.7	21.1
術後 5～10 年未満	8.7	10.1	21.9	24.4
術後 10～20 年未満	7.3	20.1	34.3	40.3
術後 20 年以上	15.6	28.3	40.3	26.7
40 歳未満	21.4	14.3	0.0	
40～49 歳	2.7	14.3	23.1	
50～59 歳	11.5	13.9	36.0	
60～64 歳	8.7	11.3	32.7	
65～69 歳	11.1	32.1	38.9	
70～74 歳	8.7	11.3	28.3	
75～89 歳	10.9	21.2	28.4	
80 歳以上	20.9	22.2	32.2	

洗腸排便法利用オストメイトは前回 2 割強から今回 17 パーセントに漸減傾向にある。

(8) オストミー情報の入手先

ストーマ装具などのオストミー情報の入手先は、全体では販売店からの情報が前回同様最多で、その次に医療従事者、オストメイトの順になっている。その中でオストミー情報の入手先として「医療従事者」の割合が増加している。

表 38 (問 7) オストミー情報の入手先 (複数回答可、カッコ内は前回調査) 【単位：%】

		販売店案内	メーカー HP	医療従事者	JOA	オストメイト	その他	無回答
全 体		48.6 (49.5)	8.5 (7.2)	34.0 (25.5)	41.7	19.8 (20.5)	6.1	3.5
スト ー マ 種 別	コロストミー	50.6 (52.0)	8.4 (6.4)	32.1 (22.9)	42.7	19.8 (22.6)	6.1	2.2
	イレオストミー	47.3 (51.1)	17.8 (8.9)	29.7 (31.1)	48.6	25.7 (20.0)	12.2	0.0
	ウロストミー	50.4 (36.6)	4.3 (5.4)	40.2 (29.5)	41.9	17.9 (19.6)	4.3	5.1
	W ストーマ	47.4 (72.2)	0.0 (22.2)	36.8 (22.2)	47.4	21.1 (16.7)	0.0	0.0
性 別	男性	52.4 (53.4)	10.2 (8.0)	34.1 (25.9)	41.8	18.0 (16.8)	5.0	2.5
	女性	43.9 (43.7)	6.1 (5.8)	37.3 (24.8)	42.9	24.1 (27.2)	7.5	3.8
会 員		49.7 (50.8)	9.9 (7.9)	28.6 (21.7)	60.2	28.1 (28.0)	6.8	2.3
非会員		53.3 (54.8)	3.3 (5.6)	47.4 (32.2)	2.6	2.6 (3.5)	3.3	3.9

(9) ストーマに関する社会の理解度

ストーマに関する社会の理解度に関しては、調査回数を経るごとに「理解されていない」との回答比率が多くなっている。これはオストメイトが内向きの考え方から外向きの考え方に意識が変わってきている現れと考えられる。

表 39 (問 8) ストーマに関する社会の理解度 (カッコ内は前回) 【単位：%】

		理解されている	あまり理解されていない	全く理解されていない	無回答
全 体		6.4 (7.9)	68.3 (65.6)	23.1 (17.1)	2.3 (9.4)
ス ト ー マ 種 別	コロストミー	7.8 (8.4)	70.4 (66.2)	19.5 (16.8)	1.4 (8.7)
	イレオストミー	4.3 (6.7)	68.6 (62.2)	27.1 (17.8)	0.0 (13.3)
	ウロストミー	5.3 (5.6)	64.9 (71.4)	28.9 (15.2)	0.2 (7.1)
	W ストーマ	5.3 (5.6)	67.4 (69.0)	36.3 (16.7)	0.0 (22.0)
性 別	男性	6.9 (6.0)	67.4 (69.0)	23.7 (16.2)	1.2 (8.8)
	女性	5.3 (10.2)	71.0 (61.7)	21.7 (18.9)	0.7 (9.2)

(10) オストメイトのことが理解されていないため困ったことがあったか
 イレオストミーの「困ったことがあった」比率が突出して高い結果となった。

表 40 (問 9) 障害のことが理解されず困った経験 (カッコ内は前回) 【単位：％】

		あった	なかった	無回答
全 体		30.7 (32.5)	64.8 (56.6)	4.5 (10.8)
ス ト ー マ 種 別	コロストミー	29.9 (36.0)	66.1 (54.2)	4.0 (9.8)
	イレオストミー	49.3 (26.7)	47.9 (64.4)	2.8 (8.9)
	ウロストミー	25.0 (26.8)	70.5 (61.6)	4.5 (11.6)
	W ストーマ	26.3 (38.9)	73.7 (38.9)	0.0 (22.2)
性 別	男性	30.9 (33.2)	65.3 (58.0)	3.8 (8.8)
	女性	31.1 (32.5)	63.6 (54.9)	5.3 (12.6)

表 41 (問 10) 前表で困ったことがあった場面 (複数回答可) (カッコ内は前回) 【単位：％】

		家族関係	職 場	外出先	病院や施設	その他	無回答
全 体		3.6 (13.4)	10.2 (17.7)	32.3 (63.4)	8.3 (16.7)	11.3 (12.4)	34.3
ス ト ー マ 種 別	コロストミー	2.3 (15.5)	10.1 (19.4)	30.3 (62.8)	7.3 (13.2)	13.8 (11.6)	36.2
	イレオストミー	5.3 (16.7)	15.8 (16.7)	40.5 (50.0)	10.5 (41.7)	14.0 (16.7)	14.0
	ウロストミー	8.9 (6.7)	5.4 (13.3)	37.5 (73.3)	5.4 (16.7)	1.8 (13.3)	41.1
	W ストーマ	0.0 (0.0)	12.5 (28.6)	31.3 (71.4)	12.5 (28.6)	6.3 (14.3)	37.5
性 別	男性	4.0	10.2	31.1	6.7	12.0	36.0
	女性	3.1	10.2	35.2	10.2	10.9	30.5

(11) 自分がオストメイトであることを知られてもよい範囲
 今回の自分がオストメイトであることを知られてもよい範囲で「誰でも」との回答が大幅に増加した。

表 42 (問 11) オストメイトであることを知られてもよい範囲 (カッコ内前回) 【単位：％】

		自分だけ	家族だけ	仲間だけ	友人知人	職場仲間	誰でも	無回答
ス ト ー マ 種 別	全 体	1.3 (1.2)	17.3 (27.1)	8.6 (8.2)	22.0 (53.3)	6.6 (2.6)	40.5 (1.4)	3.7
	コロストミー	1.1 (1.1)	18.9 (26.5)	10.0 (10.1)	21.7 (63.1)	8.1 (2.8)	38.1 (1.4)	2.2
	イレオストミー	1.4 (0.0)	11.3 (28.9)	7.0 (4.4)	16.9 (57.8)	1.7 (3.6)	42.6 (0.9)	0.0
	ウロストミー	0.9 (1.8)	13.0 (22.3)	6.1 (5.4)	28.7 (59.8)	1.7 (3.6)	42.6 (0.9)	7.0
	W ストーマ	10.0 (0.0)	20.0 (22.2)	5.0 (11.1)	20.0 (33.3)	0.0 (0.0)	40.0 (5.6)	5.0

(12) オストミー協会の認知度

表 43 (問 12) JOA を知っていますか？ 【単位：％】

知っている	知らない	無回答
72.9	23.8	3.3

表 44 (問 13) JOA の行事に参加したことがあるか？ 【単位：％】

参加したことがある	参加したことがない	無回答
64.4	30.5	5.1

表 45 (問 14) JOA の行事や広報に期待するか？ 【単位：％】

知っている	知らない	無回答
72.9	23.8	3.3

(13) オストミー協会への要望等 (アンケート書き込みより抜粋)

- ・介護職の方々にストーマ装具交換できるよう努力していただきたい。
 - ・訪問看護師さんにはストーマのことを勉強して欲しいと思う。
 - ・仲間の存在が心強い
 - ・会員比率が非常に低い (10%程度?) ので、活動の輪が広がりにくいと感じています。会員拡大に努力を願います。今後の活動に期待しています。
 - ・開催行事や広報に力を入れて、国民に知ってもらいましょう
 - ・現在、会員数が少なくなってきており、特に若い方の入会がなく今後どのように活動していけばよいか心配である。
 - ・給付金の増額をお願いします。2年前から、役所に通って給付金を上げてほしいと言っているが、個人の力ではどうにもならない。(1ヶ月に1回ぐらい役所に通っているが上がらない)
 - ・「公社」化して、数年経過しましたが、従来の協会内部の活動に加え、外に向けた公共性のある分野へも、もっと注力して欲しい。
 - ・自分自身でも、今の身体状況をしっかりと受け止めて生活していく為にも、情報交換できるところは必要だと感じています
 - ・良く活動しているので感謝している
 - ・大会等の報告も会報に良く出ていると思っている
 - ・未加入がけっこういるのに、会への入会が思わしくないーその心理をゆさぶるその方法論の構築と会員への提供が求められている
 - ・介護職の方が、全員ストーマ支援できるように全国各県で研修を実施していただきたい
 - ・岡山県内においては、ストーマ補装具として認められる品目が、市町村によって、認可の差が大きすぎる。これは是正してもらいたい。
 - ・これからもオストミーの生活環境向上に活動していただきたくお願い致します
 - ・もっと多くの人達と話をし、悩み、苦しみ、ストーマのやり方、食事の事などを聞いて生活に役立てたい。
 - ・外国のオストミー協会等との交流を求めます。
- 国際化社会におけるオストメイトの活動範囲の行動範囲を拡げるためにも有効であると

信じます。

- ・皆様ご苦労していると思います。私も同じです。会報には出来るだけ体験談を掲載願います。お世話になります。よろしく願います。
- ・高齢化しており、若い人の加入がなかなか進まないのが気がかりです。
- ・スタッフの皆様いつも協会行事に参加して色々前向きになれ感謝しております。
- ・訪問看護によってストーマ装具交換やケアができる体制が各市町村に早急に出来るようお願いしたい。
- ・自治体（行政）と提携してストミー協会のイベント広報の告知を積極的に行ってほしいと思います。
- ・オストミー協会に入るメリットを伝えるべきだ。入会する前はトラブルがなかったので別に入る必要がないと思っていた。トラブルがおきて会の行事で話をして初めて入るきっかけになった。若いオストメイトもたくさんオストミー協会にいるということも伝えるべきである。
- ・社会の中で認知度を上げる。一般市民に理解をしてもらう。オストメイトであることをカミングアウトできる世の中に。
- ・時々、インターネットを通じて協会関連の情報を入手している。今後も多くの皆さんが利用できる情報等の発信を期待しています。特に「皮膚のトラブル等」の情報が助かります。
- ・組織の力の大切さを痛感しています。
私たち障がい者の福利厚生は組織の力で動いていきます。
若い人が入ってくるとよいですね。この運動を引きついでもraitたいと思います。
- ・正直なところ、日々孤独を抱かえながら生活しているので、貴協会への期待は大きいのですが、今までサポートしていただけたと感じたことがありません。何のために会費を払っているのか疑問に思っています。もう少し電話相談、一般社会への啓発活動等の活動を期待しています。期待・不安・心配などが大きい分厳しいコメントをしてすみません。
- ・会員増加する為。施策を考えて頂きたい。魅力の有る事を考えて下さい。
- ・オストメイト自身が自分で出来なくなった場合の援助が十分になされるような対策を大いに進めて頂きたい。
- ・一度開催行事の旅行に参加してとても楽しかったです。研修会に参加した際には、既存のメンバーのグループが出来あがっていて、相談したい事やお話ししたい事があっても、話かけづらい雰囲気があったので次回からの参加はやめておこうかなと思ひ残念に思いました。
- ・貴協会のたゆまない努力と活動によりオストメイト対応トイレがどんどん増えており、安心して出かけられます。
- ・オストメイトになったばかりの時は、分からないことだらけでした。看護師さんでも、スキンケアの知識をお持ちの方だけで、相談したりするチャンスはなかなかありませんでした。今回のアンケートで日本オストミー協会があることを知りました。もっと、ストーマ装具についての知識を得るチャンスを下さい。
- ・将来、自分自身で装具の交換等日常生活が心配になって来たので、これから先参考にな

るお話を聞きたいと思っています。

- ・もう少し社会がオストメイトに理解が欲しい
- ・沖縄では、まだ地震にあったことがないのでいざ地震にあった時心配です。どうか色々とおしえて下さい。お願い致します
- ・ストーマ装具交換などの日常のケアが出来なくなった時、介護施設への入所などがスムーズに出来るようになってほしいです。役所への働き掛けをしてほしいです。
- ・自分が障害者になって初めて存在を知り情報を得ることができ、とても感謝しています。今後とも私たちの声が、生かされる事を期待しています。宜しくお願い致します。

Ⅲ. 考察

平成5年に始まったこの調査も今回で8回目となった。奇しくも平成の時代が終わり、新しい年号になる今年まとめられた本報告書は、平成という時代のオストメイト自身のQOLの変遷を知る貴重な資料となることを願う。

この平成の時代は、医療技術の向上と、ストーマ装具の品質が飛躍的に向上した。また身体障害者福祉法の適用等もありオストメイトの生活の質は徐々に向上しているといえる。しかし平成時代は、「大規模災害の時代」ともいえる。阪神淡路大震災や東日本大震災・熊本地震や多くの風水害に見舞われ、「災害時におけるストーマ装具確保」が大きな課題となってきた。その中で「バリアフリー新法」によるオストメイト用トイレ設置が進んできているのは、外出や、災害時のストーマ装具交換時の安心感醸成へつながってきていると考えられる。今回の調査は当協会が公益社団に移行して初めての調査となり、前回以上に非会員へのアンケートに力を入れ、全国の販売店にご無理を申し上げましたが、当協会としての依頼の仕方や設問等回収率を上げるための努力に、課題も多々あった。

(1) セルフケアの問題 家族のサポート 介護施設入居問題

高齢化社会の進展と医療技術の向上は確実にオストメイトの平均年齢を毎年確実に押し上げている。この事は「核家族化（一人暮らしのオストメイトの拡大）」も進み「自分でストーマ管理ができなくなった時」の心配が年を追うごとに現実化している。

オストミー講習会参加者の傾向からすると、新人オストメイトで「自分でストーマ装具の交換ができない」人の割合は、ウロストーマが圧倒的に多いが、アンケート結果からみると、コロストミーの割合が、ウロストミーの2倍近くに上っている。

セルフケアができなくなった時の対応を「家族と相談した」オストメイトの65%が家族に頼むと回答し、「自分自身で決めた」人の70%が、施設入居あるいは訪問看護・介護と回答している。この傾向は上に指摘した核家族化（一人暮らしの拡大）との関連性も含め、今後の追跡調査を注目したい。

(2) 災害対策

災害対策の基本は自助であるが、それを補完するために共助・公助を組み合わせる「ストーマ装具の確保」をより確実にする工夫が必要であるが、しかしながら、これをしておけば絶対大丈夫という方法はないともいえる。常に災害では「想定外が必ず起きる」という気持ちで、対応を検討する必要がある。アンケート結果から、「災害を経験した」地域と「ここは災害が起きないよね」と意識している地域では「災害対策意識」に大きな乖離がある事が、アンケート調査結果からもうかがえた。第2部の結果でも記述して

いるが、東日本大震災の経験から、宮城県が「ストーマ装具備蓄」に対する先進的対応がなされている（第2部アンケート書き込み参照）また当協会が提唱している「自分のストーマ装具を避難所に預ける」活動が全国に確実に広がっている。

避難所の場所や設備に関する事前確認も、先ほど述べたとおり、災害意識の強弱によって、対応が大きく違っている。

（3）温泉や公衆浴場の利用

温泉や公衆浴場の利用に関しては少しずつ利用するオストメイトの割合が増えていると思われる。しかしながらごく少数だが、「マナー違反」を疑わせる事例も見受けられる。この件に関しては、当協会の努力だけでは、解消できない問題でもあり、行政からのアナウンスや病院での「退院時説明」等の中に組み込んでいただきたい。

（4）ストーマに関する社会の理解度

ストーマに関する社会の理解度に関しては、調査回数を経るごとに「理解されていない」との回答が増えている。これはノーマライゼーションの拡大が進む中で、逆に「差別解消法」施行等を含む「オストメイトの権利意識」の拡大と、自身の内向き意識が外向き意識に変化している現れか今後意識の推移を見守りたい。

（5）カミングアウトの範囲

自分がオストメイトであることを知られてもいい範囲に関し前回調査では「家族や仲間・友人知人」までが90%以上を占め「誰にでも」がわずかに1.4%だったが、今回は「誰にでも」という回答が40%を超えた。特筆される結果であった。

IV. 謝辞

今回のアンケート調査を中心的に準備し取り纏めを推進していただいていた、高石 道明業務執行理事がその責を果たせない状況となり、平成30年度改めて調査委員会を再発足させ、6月26日第1回調査委員会、8月6日第2回調査委員会を大阪で開催しデータ集計結果の精査、見直し等を行った。この作業に関しては当協会の顧問医代表の進藤 勝久近畿大学名誉教授に外部委員としてお忙しい中ご参加いただき、集計データの再チェックや取り纏めに向けて示唆に富んだアドバイスをいただきました。その後調査委員1名が、抗がん剤治療に入り、手薄になった調査委員に平野 純子事務局長と中島 総子理事に加わっていただき1月11日と12日に集中的に報告書のとりまとめ作業を行いました。

改めて進藤 勝久先生のご指導とご配慮に深謝申し上げます。また大阪での取り纏め会議に会議室の提供をいただいた、アルケア株式会社 福本 真一氏に御礼申し上げます。

第8回 オストメイト生活実態調査票 (平成 29 年度)

公益社団法人 日本オストミー協会

あなたご自身についてお伺いします。次の項目にご記入下さい。[あなたのプライバシーは護ります]

1. ストーマを造設した年： 昭和・平成 年
2. 今の満年齢： _____ 歳
3. 性別： 男・女
4. 住んでいる都道府県： _____ 都道府県
5. 日本オストミー協会の会員ですか： 1)はい 2)いいえ
6. ストーマの種類：
 (○を付けて下さい) 1) 結腸人工肛門(コロストミー) 2) 回腸人工肛門(イレオストミー)
 3) 人工膀胱(ウロストミー) 4) 人工肛門と人工膀胱(ダブル)
7. あなたのストーマは次のどちらですか： 1) 永久ストーマ 2) 一時ストーマ

I. あなたの日常生活全般についてお尋ねします

問1. あなたはストーマ装具交換などの日常のケアは、ご自身で行なっていますか？

- 1) はい (問3へ) 2) いいえ

問2 問1で「いいえ」に○を付けた方だけにお伺いします。

あなたのストーマ装具交換などの日常のケアを行なっているのは、どなたですか？

(どれか1つの番号に○を付けて下さい)

- 1) 同居の家族や親族 2) 別居の親族など 3) 訪問看護師
4) 訪問介護職員 5) 入所介護施設の看護師・介護士 6) デイサービスの看護師
7) その他 (具体的に： _____)

問2-2 問2で「3)訪問看護の看護師」、「6)デイサービスの看護師」に○をつけられた方にお伺いします。

現状、受けているサービスに問題はありますか？ (どちらかの番号に○を付けて下さい)

- 1) ある 2) 無い

問2-3 問2-2で「1) あり」に○を付けた方にお伺いします。

その問題は何ですか。(当てはまる番号に○を付けて下さい)

- 1) 料金が低い 2) 必要なときにケアが受けられない 3) 自分にあったケアをしてくれない
4) その他(具体的に： _____)

(問4へ)

問3 問1で「1) はい」に○を付けた現在、日常のケアをご自身で行なっている方にお伺いします。

将来、認知症や脳障害等によりご自身でストーマ装具交換などの日常のケアが出来なくなった時、ケアをどのようにするか決めていますか？ (どれか1つの番号に○を付けて下さい)

- 1) 家族などとも相談して決めている 2) 家族などには相談していないが自身で決めている
3) 決めていない 4) わからない

問3-2 問3で「1)家族などとも相談して決めている、2)家族などには相談していないが自身で決めている」に○を付けた方にお伺いします。

それはどのような方法ですか？ (どれか1つの番号に○を付けて下さい)

- 1) 同居の家族や親族 2) 別居の親族など 3) 自宅での訪問看護・介護
4) 介護施設への入所 5) その他 (具体的に： _____)

- 問 3-3 問 3-2 で「1)同居の家族や親族」、「2)別居の親族」に○を付けられた方にお伺いします。
その方に、あなたの現在のストーマ装具交換やケアの内容を、どのような方法で理解してもらっていますか？（どれか1つの番号に○を付けて下さい）
- 1) 時々ストーマ装具交換などをしてもらう
 - 2) ストーマ装具交換の手順などをメモにしている
 - 3) 特に何もしていない
- 問 4 あなたはストーマ外来を受診していますか？（どれか1つの番号に○を付けて下さい）
- 1) 定期的を受診
 - 2) 時々受診
 - 3) 受診していない
- 問 4-2 問 4 で「1) 定期的に受診」、「2) 時々受診」に○を付けられた方にお伺いします。
受けたケアやアドバイスの内容や対応につきお伺いします。（どれか1つの番号に○を付けて下さい）
- 1) 満足している
 - 2) 満足していない
 - 3) どちらでもない
- 問 5 あなたは大地震などの災害に備え、非常持出しを常に持出せるように準備していますか？
（どちらかの番号に○を付けて下さい）
- 1) はい
 - 2) いいえ
- 問 5-2 問 5 で「1)はい」に○を付けられた方にお伺いします。
非常持出しの中には避難所生活に必要な、ストーマ装具やストーマ用品は入っていますか。
（どちらかの番号に○を付けて下さい）
- 1) 入っている
 - 2) 入っていない
- 問 5-3 問 5-2 で「1)入っている」に○を付けられた方にお伺いします。
どのような物を、何日分程度用意されていますか。（当てはまる番号に○を付け日数を記入下さい）
- 1) ストーマ装具
 - 2) 剥離剤
 - 3) 洗浄クリーム
 - 4) コットン
 - 5) ウエットティッシュ
 - 6) ごみ袋
 - 7) 消臭剤
 - 8) はさみ
 - 9) ストーマ装具製品番号等記したメモ
 - 10) その他(具体的に)
- ストーマ装具等用意している日数： _____ 日分
- 問 6 ストーマ装具は災害を想定して分散保管をしていますか。（どちらかの番号に○を付けて下さい）
- 1) している
 - 2) していない
- 問 6-2 問 6 で「1)している」に○を付けられた方にお伺いします。
分散保管している場所は何処ですか。（当てはまる番号に○を付けて下さい）
- 1) 自宅内
 - 2) 親戚・友人宅
 - 3) 公共施設
 - 4) その他(具体的に_____)
- 問 7 区市町村で決められた災害時の避難所は何処か知っていますか。（どちらかの番号に○を付けて下さい）
- 1) 知っている
 - 2) 知らない
- 問 7-2 問 7 で「1)知っている」に○を付けられた方にお伺いします。
その避難所のオストメイトに関する環境をお伺いします。（どれか1つの番号に○を付けて下さい）
- ①トイレの環境：
 - 1) 整っている
 - 2) 整っていない
 - 3) わからない
 - ②ストーマ装具の交換環境：
 - 1) 整っている
 - 2) 整っていない
 - 3) わからない
- 問 8 外出時のトラブルを考慮して、外出時は交換用のストーマ装具やストーマ用品を携帯していますか？
（どれか1つの番号に○を付けて下さい）
- 1) 遠方でも近場でも常に携帯している
 - 2) 遠方の時だけ携帯している
 - 3) 特に携帯はしない
 - 4) わからない
- 問 9 オストメイトに配慮した設備のトイレがあるのをご存知ですか？（どちらかの番号に○を付けて下さい）
- 1) 知っている
 - 2) 知らない

問 9-2 オストメイトに配慮した設備のトイレは利用されますか？（どれか1つの番号に○を付けて下さい）

- 1) 良く利用する 2) 時々利用する 3) 利用しない

問 9-3 問 9-2 で「3)利用しない」に○を付けられた方にお伺いします。

利用しないのはなぜですか？（当てはまる番号に○を付けて下さい）

- 1) 必要と思わない 2) 周りの目が気になる 3) 使い方がわからない
4) その他（具体的に _____）

問 9-4 オストメイトに配慮した設備のあるトイレを利用された方全てにお伺いします。

利用目的をお伺いします。（当てはまる番号に○を付けて下さい）

- 1) 便や尿の排泄 2) ストーマ装具の洗浄 3) ストーマ装具の交換
4) その他（具体的に _____）

問 10 公衆浴場やスーパー銭湯、旅館・ホテルの大浴場など、公衆の浴場を利用しますか？

（どちらかの番号に○を付けて下さい）

- 1) 利用する 2) 利用しない（よろしければ理由を記入下さい：_____）

問 10-2 問 10 で「1)利用する」に○を付けられた方にお伺いします。

あなたが公衆の浴場で入浴するとき、意識して行っていることは何ですか？

（各項目で当てはまる番号のどちらかに○を付けて下さい）

- | | | |
|---------------------------------|------|-------|
| ①ストーマ装具は装着して入浴する | 1)はい | 2)いいえ |
| ②ストーマ装具内の汚物は捨ててから入浴する | 1)はい | 2)いいえ |
| ③洗い場等でストーマ装具を交換する | 1)はい | 2)いいえ |
| ④洗い場等でストーマ装具を外して洗浄をする | 1)はい | 2)いいえ |
| ⑤洗い場等で目立たないようにストーマ装具をシート・タオルで隠す | 1)はい | 2)いいえ |

II. あなたが日常使用されているストーマ装具や関連することをお伺いします

問 1 あなたは身体障害者手帳をもらっていますか。（どちらかの番号に○を付けて下さい）

- 1) もらっている 2) もらっていない（理由は：_____）

問 2 身体障害者手帳をもらっている方だけにお伺いします。あなたはストーマ装具の給付を市町村から受けていますか。（どれか1つの番号を○で囲んで下さい）

- 1) 受けている 2) 受けていない 3) わからない

問 3 1ヶ月にストーマ装具のため、どのくらい経費がかかりますか。ストーマ装具給付額を含め、合計でおよその金額はいくらですか。（どれか1つの番号を○で囲んで下さい）

- 1) 全くかからない 2) 4,999 円以下 3) 5,000 円～9,999 円 4) 10,000 円～14,999 円
5) 15,000 円～19,999 円 6) 20,000 円～24,999 円 7) 25,000 円以上

問 3-2 上の金額はストーマ装具給付額だけで間に合っていますか。間に合っていない場合の不足金額は1ヶ月どのくらいですか。（どれか1つの番号を○で囲んで下さい）

- 1) 給付額で間に合っている 2) 1,999 円以下 3) 2,000 円～2,999 円 4) 3,000 円～3,999 円
5) 4,000 円～5,999 円 6) 6,000 円～7,999 円 7) 8,000 円～9,999 円 8) 10,000 円～14,999 円
9) 15,000 円以上

問 4 あなたはどのタイプのストーマ装具をお使いですか。（どれか1つの番号を○で囲んで下さい）

- 1) 単品系（ワンピース） 2) 二品系（ツーピース） 3) 両方 4) 使っていない

問5 現在お使いのストーマ装具（面板）はどのくらいの日数で交換していますか。

（どれか1つの番号を○で囲んで下さい）

- 1) 1日に2回以上 2) 1日に1回 3) 2日に1回 4) 3日に1回 5) 4日に1回
6) 5日に1回 7) 6日に1回 8) 1週間に1回 9) それ以上 10) ストーマ装具は使わない

問6 人工肛門の方だけに伺います。洗腸を行なっていますか。（どれか1つの番号を○で囲んで下さい）

- 1) 洗腸している 2) 洗腸していない

問7 ストーマ装具などのオストメイトに関する情報はどこから入手していますか。

（当てはまる番号に○を付け下さい）

- 1) 販売店 2) メーカーのホームページ 3) 医療従事者（ストーマ外来含む）
4) 日本オストミー協会の開催行事 5) オストメイト仲間
6) その他（具体的に：_____）

問8 一般社会にオストメイトのことが理解されていると思いますか。

- 1) 理解されている 2) あまり理解されていない 3) 全く理解されていない

問9 今までにオストメイトのことが理解されていないために困ったことはありましたか。

- 1) あった 2) なかった

問10 上記質問に、「1) あった」と答えた方は、それはどのような場面で経験しましたか。

- 1) 家族関係の中で 2) 職場で 3) 外出先で 4) 病院や施設で
5) その他（具体的に：_____）

問11 あなたはオストメイトであることを、どの範囲まで知られてもかまいませんか。

（1つだけ○を付けて下さい）

- 1) 自分だけにしておきたい 2) 家族だけにしておきたい 3) オストメイトの仲間だけ
4) 友人・知人はかまわない 5)) 職場の同僚もOK 6) 誰に知られてもかまわない

問12 あなたは日本オストミー協会の存在や活動内容を知っていますか。

- 1) 知っている 2) 知らない（問15へ）

問13 あなたは日本オストミー協会の開催する行事に参加したことがありますか。

- 1) ある 2) ない

問14 あなたは日本オストミー協会の開催行事や広報などの活動について期待しますか。

- 1) 期待する 2) 期待しない 3) わからない

問14-2 問14で「2) 期待しない」に○を付けられた方にお聞きします。その理由をお聞かせ下さい。

問15 日本オストミー協会に対して、ご要望等がございましたら自由に記入下さい。

第2部 オストメイトに対する日常生活用具給付事業等 に関する調査報告書

I. はじめに

オストメイト（いわゆる「人工肛門・人工膀胱」造設者）は排泄という人間の尊厳にかかわることをストーマ装具に委ねている。その為日常生活は言うに及ばず、災害時を含むいかなる時も、ストーマ装具なしに生活をする事ができないといえる。このストーマ装具の入手のための根幹をなしているのが、市町村が行っている「日常生活用具給付事業」の「ストーマ装具給付」である。この事業は基本的には国が予算の50/100、都道府県が25/100、市区町村が25/100で維持されている。この事業が将来的にも安定して維持され、さらにオストメイトの負担を軽減される形で発展することを望みたい。

また外出時の排泄のトラブル対応として、公的施設に「オストメイト用トイレ」設置が進められているが、依然として市区町村が管理する災害発生時の避難所を含む、公共施設にオストメイト用トイレ等が設置されていないところが見受けられる。平成22年に厚生労働省の「障害者総合福祉推進事業」で行われた調査に引き続き第2回目の調査を行った。

☆調査方法

- *全国市町村 1,741（平成28年12月現在）に調査票（巻末に掲載）を送り、回答用紙の返送を求める方法。
- *回答のあった市町村数 1,259（回答率 72.3%）
- *調査委員会：この調査でも第1部の冒頭に記した調査委員会が、調査結果の分析にあたった。

☆調査事項

1. 日常生活用具給付事業
給付基準額、1回当たりの給付月数、洗腸用具の支給、ストーマ用品（付属用品）の支給、及び高齢者入所施設等の入居者への給付。
2. 災害時のストーマ装具などの供給体制整備
福祉避難所を含むオストメイトの避難所及び避難所でのストーマ装具備蓄を含むオストメイトの「公助」対策。
3. オストメイト対応トイレの整備
公共施設でのトイレ設置状況、設置しているトイレの設備及び今後の計画

☆調査期間

平成29年1月～平成29年2月（この間、2月10日の締め切りまでに回答のなかった市区町村に督促状を発送した。）

II. 調査結果の概要

1. 日常生活用具（ストーマ装具）給付事業

(1) 給付基準額

ストーマ装具の基準額区分ごとの市区町村数を表1及び表2に示す。コロストミー用バッグの場合、従来の国の給付基準（8,600円）及びその額に3%加算した額（8,858円）の範囲に入っている市町村割合は前回調査と有意差はないと思われる。但し給付基準を満たしていない自治体があること、また「日常生活用具の国庫負担率の低下」「市町村の負担割合の上昇」を指摘する、コメントが複数見られた。

表1 コロストミーバッグ

	給付基準額 (円)	8,600 未満	8,600	8,601～ 8,857	8,858	8,859 以上	無回答	計
今回	市町村数	9	330	37	685	175	23	1,259
	比率 (%)	0.7%	26.2%	2.9%	54.4%	13.9%	1.8%	100%
前回	市町村数	13	398	36	777	152	42	1,418
	比率 (%)	0.9%	28.1%	2.5%	54.8%	10.7%	3.0%	100.0%

ウロストミーバッグの場合では従来の国の給付基準額（11,300円）及びその額に3%加算した額（11,639円）の範囲に入っている市町村割合は前回調査と有意差はないと思われる。但し基準額以下の市町村が依然として1%強ある。

表2 ウロストミーバッグ

	給付基準額 (円)	11,300 未満	11,300	11,301～ 11,638	11,639	11,640 以上	無回答	計
今回	市町村数	16	331	359	387	143	23	1,259
	比率 (%)	1.3%	26.3%	28.5%	30.7%	11.4%	1.8%	100.0%
前回	市町村数	15	405	39	767	112	80	1,418
	比率 (%)	1.1%	28.6%	2.8%	54.1%	7.9%	5.5%	100.0%

(2) 自己負担割合

市町村の給付基準に定められているオストメイトの自己負担割合を表3に示す。自己負担なしが前回調査5.0%に対し今回9.1%と上昇しているのに比して、1割未満・1割の割合が低下し、納税額区分により徴収が47.3%から64.2%に上昇している。

表3 自己負担の有無と自己負担割合

	負担額区分	なし	あり	1割未満	1割	1割超	納税額区分	合計
今回	市町村数	118	1,185	38	304	6	837	1,303
	比率 (%)	9.1%	90.9%	2.9%	23.3%	0.5%	64.2%	100.0%
前回	市町村数	70	1,326	96	565	4	661	1,396
	比率 (%)	5.0%	95.0%	6.9%	40.5%	0.3%	47.3%	100.0%

(3) 1回当たりの給付月数

給付月数に関しては、1ヶ月・2ヶ月が減少しその分6ヶ月と回答した市区町村が増えている。これはⅡ、災害時のストーマ装具などの供給体制整備の項でも触れるが、「災害用備蓄」を「支給月数を増やして、個人備蓄で対応してもらおう」という市町村の記述と符合する。

	月数	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	6ヶ月	12ヶ月	規定なし	無回答	計
今回	市区町村数	10	199	16	181	804	24	2	23	1,259
	比率 (%)	0.8%	15.8%	1.3%	14.4%	63.9%	1.9%	0.2%	1.4%	100.0%
前回	市区町村数	146	339	20	219	669			25	1,418
	比率 (%)	10.3%	23.9%	1.3%	15.4%	47.2%	0.0%		1.8%	100.0%

(4) 洗腸用具の給付

洗腸用具の給付に関しては、ありと回答した市区町村の割合が、若干上昇している。

表5 洗腸用具の給付

	洗腸用具の給付	あり	なし	無回答	合計
今回	市区町村数	770	470	19	1,259
	比率 (%)	61.2%	37.3%	1.5%	100.0%
前回	市区町村数	799	586	33	1,418
	比率 (%)	56.3%	41.3%	2.3%	100.0%

(5) ストーマ用品（アクセサリ）の給付

ストーマバッグ以外のアクセサリ用品の給付に関しては、給付「あり」が前回の64.3%から、今回79.1%に拡大している。

表6 ストーマ用品（アクセサリ）の給付

	付属用具の給付	あり	なし	無回答	合計
今回	市区町村数	996	255	8	1,259
	比率 (%)	79.1%	20.3%	0.6%	100.0%
前回	市区町村数	912	457	49	1,418
	比率 (%)	64.3%	32.2%	3.5%	100.0%

(6) 高齢者入所施設等の入居者への給付

一部の自治体で給付事業に関する法令解釈の不備から高齢者入所施設入居オストメイトに、ストーマ装具給付事業から除外されている事例があり、前回調査から追加された質問項目である。「支給しない」市町村が、前回の 10.4% から今回 6.8% と減少傾向にあるが、依然として、給付されていない自治体がある。

表7 高齢者入所施設等の入居者への給付

		入居者への給付	あり	なし	無回答	合計
今回	市区町村数		1,172	85	2	1,259
	比率 (%)		93.1%	6.8%	0.2%	100.0%
前回	市区町村数		1,237	148	33	1,418
	比率 (%)		87.2%	10.4%	2.3%	100.0%

2. 災害時のストーマ装具などの供給体制整備

(1) オストメイトの避難所

表8のとおり、オストメイトを「福祉避難所に避難」と回答した市町村が、前回の 20.3% から、今回 42.4% に大幅に拡大している。

表8 オストメイトの避難場所の設定

		福祉避難所	一般の避難所	その他	無回答	合計
今回	市区町村数	534	542	182	1	1,259
	比率 (%)	42.4%	43.1%	14.5%	0.1%	100.0%
前回	市区町村数	288	870	221	39	1,418
	比率 (%)	20.3%	61.4%	15.6%	2.8%	100.0%

(2) 避難所での装具の備蓄等

「対応済み」が前回の 96 市町村 6.8% から今回 215 市町村 17.1% と、絶対数も、%も拡大しているが、依然として「予定なし」の比率が高い。

表9 避難所や福祉避難所にオストメイトに対する公助

		対応済み	計画中	予定なし	無回答	合計
今回	市区町村数	215	0	984	61	1260
	比率 (%)	17.1	0	78.1	4.8	100.0
前回	市区町村数	96	257	992	73	1418
	比率 (%)	6.8	18.1	70.0	5.1	100.0

3. オストメイト用トイレの整備

(1) 公共施設でのトイレ設置状況

公共施設に対する「オストメイト用トイレ設置」(表 10) に関しては設置が進んでいることがデータからも読み取れるが、依然として未だ役所等にも設置されていない市町村が、全体の 1/4 以上に上る。

また設置数(表 11) に関しては前回調査より、拡大傾向にある(今回設置台数 1～5 台が減少しそれ以上の設置台数の比率が各項目とも前回は上回っている)が拡大のスピードは弱まっているように感じられる。

表 10 公共施設のオストメイト用トイレ設置

		設置している	設置していない	無回答	合計	合計
今回	市区町村数	916	317	16	1,249	1260
	比率 (%)	73.3%	25.4%	1.3%	100.0%	100.0
前回	市区町村数	945	461	12	1,418	1418
	比率 (%)	66.6%	32.5%	0.8%	100.0%	100.0

表 11 設置しているトイレ数

		トイレの数	1～5	6～10	11～15	16～20	21～30	30以上	無回答	合計
今回	市区町村数	506	140	67	42	40	63	58	58	916
	比率 (%)	55.2%	15.3%	7.3%	4.6%	4.4%	6.9%	6.3%	6.3%	100.0%
前回	市区町村数	656	124	56	22	30	23	34	34	945
	比率 (%)	69.4%	13.1%	5.9%	2.3%	3.2%	2.4%	3.6%	3.6%	100.0%

(2) トイレの設備

オストメイト用トイレにはオストメイトの排泄に関する特別なニーズに配慮した（汚物流し洗浄台・温水ハンドシャワー・鏡・物置棚・ペーパーホルダー・石鹸等）設備の設置が求められている。前回の調査時点に比べて、今回は「水石鹸」以外の設置率の向上が見られる。

表 12 トイレの設備

	今回		前回	
	設置市町村 916 の比率 (複数回答)		設置市町村 945 の比率 (複数回答)	
汚物洗浄台	824	90.0%	806	85.3%
ハンドシャワー	818	89.3%	786	83.2%
電気温水器	729	79.6%	684	72.4%
物置棚	687	75.0%	664	70.3%
鏡	835	91.2%	822	87.0%
ペーパーホルダー	766	83.6%	771	81.6%
水石鹸消毒剤	622	67.9%	665	70.4%
フック2ヶ所	395	43.1%	298	31.5%
汚物入れ	288	31.4%	248	26.2%
換気扇			742	78.5%
手洗器	755	82.4%	808	85.5%
手の乾燥器			181	19.2%
ベンチ/ベッド	288	3.3%	284	30.1%
着替え台	254	2.9%		0.0%
マークと解説	690	7.9%	716	75.8%

(3) 未設置市町村の今後の計画

表 10 で示したオストメイト用トイレ未設置市町村の今後の計画を質問した結果である。依然として、役所にも「オストメイト用トイレは設置していないし、今後も設置する計画がない」市町村がかなりの数に上っている現状がうかがえる。

表 13 未設置市町村の今後の計画

		あり	無し	無回答	合計
今回	市区町村数	64	232	21	317
	比率 (%)	20.2%	73.2%	6.6%	100.0%
前回	市区町村数	98	317	46	461
	比率 (%)	21.3%	68.8%	10.0%	100.0%

(4) 担当者からのコメント（抜粋）

①ストーマ装具 及び 災害対策 に関する市区町村担当者からの意見およびコメント

- 宮城県では「オストメイトのストーマケアに関する防災対策』があり、その支援体制に基づき、ストーマ保有者に対して災害対策マニュアルを配布し、一時支援で配布される汎用ストーマ装具について、情報を受けてもらうよう手帳交付時やストーマ装具申請時に説明している。
また、二次支援で各ストーマ保有者へ個別ストーマ装具提供が可能な状況になり次第、すぐに情報提供ができるよう、各ストーマ保有者個人の使用ストーマ装具をリスト化し、給付申請がある度更新している。
- 埼玉県が業者と協定を締結し、備蓄管理している。
- 他市においては、オストメイト各個人が購入した装具を保管および管理している事例を把握しており、災害時の運用対策方法に課題があるということも聞いております。
本市においてもストーマ装具の保管や管理方法など課題がありますので、関係部署と連携する等、ストーマ装具の備蓄体制について調査・研究をしてまいります。
なお、業者との流通供給協定については、現在、協議を進めております。
- 災害時対応の協定締結や備蓄をすすめているが、ストーマ装具についての具体的対応は調整していないので、今後進めていきたい。
- 本市では、災害時の備えについて、千葉県オストミー協会の方々との話し合いの結果、ストーマの備蓄ではなく、「災害用オストメイト専用トイレ」の備蓄にて対応しています。
- 災害備蓄品としてのストーマ装具の認識が今までなく、食糧や簡易トイレといったものしか現状準備できていなかった。防災担当と協議し、障がいを持った方の視点からも準備を進めたい。
- 災害対策としてストーマ装具備蓄のニーズは認識しているものの、多種多様なストーマ用具の中からどの種類を選択していけばよいのか判断が難しく実施には至っていない。
- 財政的な面からもストーマ装具の備蓄は難しいが、紙おむつと違い、支援物資としてなかなか供給されない物品でもあるので、今後検討は必要と思われる。
- 災害時に備えたストーマ装具等の備蓄は行っておりませんが1回の申請で6カ月分までの申請を認めており、災害時に備え余裕をもって申請してもらえるようにしております。
- 日常生活用具給付事業は地域生活事業の必須事業であり、日常生活用具給付事業は国県の補助を受けて市が実施しているものですが、地域生活支援事業の国庫補助率（50/100以内）は年々低下しており、本市への昨年の補助率は約33%弱となっています。本事業に対する国県の負担についても改善要望をしていく中で、洗浄用具の給付についても他地域の輻性や利用者の状況に応じ、効果的・効率的な事業実施となるよう検討してまいります。
- 災害時用支援者用備蓄物質の整備の一環で、オストメイト用仮設トイレに代用できるようボーダブルトイレ、更衣用テントの購入を行っている。
- 個人使用装具個別保管に関しては、岡山県ストーマ保有者災害対策の会の要請により町広報紙で備蓄の呼びかけを行ったところである。また、災害時にストーマ用品の提供が

行われる拠点病院が10ヶ所あり、そのお知らせを町広報紙により行っている。

- ・個人が使用するストーマ用品は、その方の状態に合ったものなので当然多種に渡り、どれだけの種類をどれだけの量備蓄するかの判断は難しく非効率である。また、本事業は自治体の備蓄用ストーマを助成対象にしている訳ではないので予算確保の面からも難しい。現実的な策だと思うのは、個人の方々が2ヶ月に3箱しているのを→4箱（普段使用する量より少し多く）で申請するとかして少し増やし、余った分を少しずつ備蓄していくことだと考える。これだと助成出来るが自治体が備蓄だと、予算が全て町の持ち出しになる。予算が潤沢な自治体など無い。『日常生活用具備蓄給付事業』が必要であると考え。そういう働きかけが必要ではないでしょうか。
- ・ストーマ給付申請については著しく増加し、ストーマ給付にかかる町事業予算も著しく増加している。状況にもかかわらずこの日常生活用具給付事業（ストーマ給付）である。当町地域生活支援事業費はこの事業にかかる国補助事業内示額を大きく上回っており、財源不足を生じている状況である。この状況が続けば高齢者施設入所者へのストーマ給付について見直しせざるを得ない状況あり町からも国内示額増額の要請しているが全国の団体からも厚労省への強い要望をお願いしたい。
- ・熊本地震後の対応として、ストーマ装具の備蓄、オストメイト対応の仮設トイレの供給体制のお整備等、検討していくこととしています。
- ・避難行動要支援者が避難して生活する福祉避難所の設置、運営マニュアルが未整備のため、オストメイトが避難所での個別保管に対応できる仕組みを参考にし、マニュアル策定の際に検討していきたい。

②オストメイト対応トイレの整備、災害時オストメイトの避難対策に関するコメント

- ・当市においては、公共施設にオストメイト対応トイレは無く、また、災害時の避難対策についても、具体的な対策はされておらず、オストメイトに対する施策は、未確立な状態です。今回のアンケートを機に、市として「公助」の対策を検討していければ、と考えています。
- ・本町では、災害時の要支援者の避難対策となっている。オストメイトの中にはオストメイトであることを周囲に知られたくないと考えている方もおり、行政がオストメイトであることを理由にあらかじめ、一般の方と区別して避難所を設定すべきか判断に苦慮している。オストメイトが避難所にどのような環境を必要としているか分からないので今後とも情報提供していただけるとありがたい。
- ・本市では、一般の避難所において、高齢者や障がい者専用のエリアを設けて「福祉避難所」としており、その運営に必要な備品を設置する。一般の避難所にオストメイト用トイレが既設されている場合にはそちらを利用してもらうが、そうでない場合には「福祉避難所エリア」に組立て式オストメイト用トイレを設置する。
- ・国からの財政的支援が必要
- ・今後、簡易オストメイト対応トイレの組立てが、市内各地区の防災訓練に組み込んでいくことに関し、防災担当部署と協議済。順次導入予定。
- ・現時点で検討課題としてあがっておらず、このような対策や支援体制の整備について行っていません。

ただし今後検討していくべき課題の1つであると考えますので、今回の調査の結果がまとまりましたら資料として活用させていただきたいので結果をいただきたく存じます。

- ・問2について：区が作成した避難所運営マニュアルにおいて、人工肛門や人工膀胱を使用しており、装具の取り替えや消毒が必要な人へ、個室などの多目的スペースを設けることを記載し、周知している。
- ・公共施設建設時における多機能型トイレの整備については、「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例」（県条例）に基づき、設置義務が課せられています。本市においても本条例に基づき対応することとしています。
- ・現在の公助の対策はされておらず自助努力に頼るのみとなっている。
- ・福祉避難所におきましては、障がい者対応型の仮設間仕切りを備蓄していますが、現状、災害時のオストメイト対応トイレについては未設置となっています。今後、オストメイト対応の簡易トイレの整備などの検討をしていきたいと考えています。
- ・従来から要援護者用トイレなどは配備してきたが、オストメイトに関する考慮はされていなかったため、今後、こういった資機材を整備する際は、検討するよう努め、多様なニーズを想定した防災体制の構築をおこなっていききたい。
- ・各避難所におけるトイレの整備、オストメイト用トイレ及び災害用キットの備蓄に努めるとともに、避難所開設時にはプライベートスペースの確保・設置に努めます。
- ・福祉避難所となる福祉保健センターや、一般の避難所の一部にはオストメイト対応トイレが設置されているが、未対応の避難所もあります。オストメイト用トイレの備蓄について、業者との供給協定締結は今後の検討事項です。
- ・本市においては、年々ストーマ装具支給対象者が増加傾向にあります。「オストメイト」に対する認識もあまりないのが現状です。今後は、障害福祉計画等に「オストメイト」に関する施策を掲げる必要性を感じております。
- ・避難所そのもの耐震化や、災害用マンホールトイレの整備などを計画している。避難所でプライバシーを守るための間仕切りや小型テントなどの備蓄数も少ないため、整備や確保について検討する必要があるが計画は未定。

Ⅲ. 考察と提言

1. ストーマ装具（日常生活用具）給付事業

オストメイトは「排泄」という人間としての尊厳にかかわる大切なことをコントロールするため、「ストーマ装具」の使用が必須となっている。そのためすべてのオストメイトが、「身体障害者福祉法」の適用を受け、それに基づいて市町村から「ストーマ装具の給付」を受けられることになっている。

ストーマ装具は、不随意的に排泄される便や尿を受け止め、溜めるためのストーマ袋及びフランジ（面板）、その他皮膚保護ペースト、消臭剤、剥離剤、皮膚被膜材、専用ハサミ等のストーマとその周辺皮膚等を正常な状態に保つために必要な製品、また洗腸を行うオストメイトにはそのための特殊な用具などである。

これらストーマ装具給付事業を直接担当する市区町村は給付対象者、給付基準額、給付申請方法などを定め、この給付事業を実施している。

当協会としてはこのアンケート調査結果を分析し、必要な提言を行うのが、オストメイトの健康と福祉の向上に資する重要な任務だと認識している。以下、調査項目に従って結果を考察し、必要な提言をまとめる。

(1) 給付基準額と自己負担額

コロストミー・ウロストミーのいずれも、大部分の市区町村で国の補助金交付基準額（及びそれに3%を加えた額）またはその端数繰り上げ額に設定されているが、一方依然として基準額を下回っているところがあるのは問題である。このことに関しては「国庫補助率（50/100）が年々低下している」との指摘が複数あり、この制度の根幹を揺るがす問題ではないかと懸念する。

また、給付にあたり、経費の自己負担割合で「1割」または「1割未満」の割合が前回調査よりも減少し、「納税額区分」が増大している。これもまた、「国庫補助率低下」がオストメイトの「負担増につながってきている」と云えるのではないかと懸念する。

自己負担については第1部「生活実態基本調査」の結果にもあるように、実際には基準額の1割を大幅に超える額を負担しているオストメイトが極めて多いこと、および所得制限の撤廃を望む声が高いことを指摘したい。したがって、給付基準額の上方修正と所得制限の撤廃を国・都道府県・市区町村に強く要望したい。さらには、国庫補助率の維持・確保を改めて国に要望したい。

(2) 洗腸用具及びストーマ用品（アクセサリー）の給付

洗腸を行っているコロストミーは年々減少傾向にある。これはストーマ装具の品質向上や「災害対応」（水が無いと洗腸が出来ないため）及び「退院までに病院で洗腸指導ができない」等の事情が作用していると考えられるが、「マラソンや登山の為に食事制限をする」と云う話があるように、洗腸可能なコロストミーにとって洗腸はスポーツや趣味・入浴等あらゆる場面で安心できることが多いため、給付を行っていない自治体については、是非、国の指針に沿った給付をお願いしたい。

同様にその他のストーマ用品（アクセサリー）に関しても、一部の自治体が給付を行っていない現状がある。早急な改善を求めたい。

(3) 高齢者入所施設等の入居オストメイトへの給付

平成18年の制度改正により、ストーマ装具は従前の「補装具」から「日常生活用具」に移された。その際、市区町村が給付基準を定めるにあたり、従来からあったほかの日常生活用具の給付対象を「在宅に限る」としていた制限を、ストーマ装具に関しては外す必要があったのであるが、今回の調査でも、前回よりは少なくなっているが、依然として「施設入所者に給付しない」自治体が見受けられる。

2. 災害時のストーマ装具などの供給体制整備

このことに関してはアンケートの記述からも、必要性に関する認識は高まっていると感じられるが、具体的な備蓄となると、その種類や費用等がネックになり、進んでいないのが現状である。その中で東日本大震災の経験から宮城県が「宮城県ストーマ災害対策委員

会」発行の災害マニュアルに沿って、「汎用ストーマ装具」の備蓄・配布・受け取りの徹底が図られている。またストーマ装具給付申請に合わせて、各オストメイトが使用するストーマ装具の型番を各自治体で登録している。この「宮城県方式」が災害対応のモデルケースとして全国に広がることを期待したい。

また、千葉県や茨城県を中心に東日本大震災以前から取り組まれていた「自分のストーマ装具を避難所に預かってもらう」体制が、全国の自治体に広がっている様子が、アンケートの書き込み等から読み取れる。また一部の自治体で「支給月数を増やすことによって備蓄にかえる」との記述があったが、このことによって「公的備蓄」の責任を果たしていることにはならないと指摘しておきたい。

災害発生時の避難所に関しては、その都度マスコミ報道もあり、徐々に被災者に寄り添う避難所設営が進められている。我々は引き続き避難所への「オストメイトに配慮したトイレやトイレ空間の確保」をお願いするとともに、今回のアンケート結果からもあるように、オストメイトの避難先として「福祉避難所」の設定（前回 20.3% ⇒今回 42.4%）を引き続き要望していきたい。

3. オストメイト用トイレの整備

公共施設に対するオストメイト用トイレ設置に関しては徐々に拡大している実態がアンケート結果からも読み取れるが、その多くが「新築」による増加と思われる。地方の役所にオストメイト用トイレ設置をお願いに行くと、「車いす用トイレも設置できないのに、オストメイト用はなおさらだ」という言葉をいまだに聞く場面があるのが現状です。これを打破するには国の施策が不可欠と考えられる。

IV. 終わりに

本報告書は平成 22 年に厚生労働省の補助事業として行った「オストメイトに対する日常生活用具給付事業等に関する調査」に引き続き第 2 回目として実施したものである。アンケート結果から日常的にオストメイトの QOL 向上の為ご努力いただいている結果が反映されていると感じる。引き続きさらなるご理解とご支援をいただきたい。

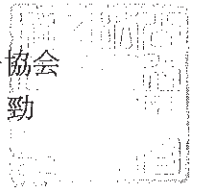
アンケートの未回収が前回よりも多くなり、しかも地方の町村に多く見られる結果となった。「設問の設定等も十分検討して担当者の負担が少なく、精度の高いデータ収集をいかにするか」という視点で設問の工夫が求められていると痛感した。

この調査を行うにあたり、市区町村の担当者に大変ご苦勞を掛けました。ご協力に深く感謝申し上げます。この報告書が身障者のための新たな施策策定の議論の中で生かされることを切に望みます。

JOA 第 H29-2 号
平成 29 年 1 月 13 日

全国市区町村長 殿

公益社団法人 日本オストミー協会
会長 笹岡 勲



第 2 回オストメイトに対する

日常生活用具給付事業等に関する調査（依頼）

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

早速ですが、当協会は平成 22 年に厚生労働省所管の「平成 22 年度障害者総合福祉推進事業」による補助金の交付を受けて、標記の第 1 回調査を実施しました。今回引き続き第 2 回調査を行う事になりました。

当協会は、癌などを原因として便や尿の通常の排泄経路が使えなくなり、腹部にストーマと呼ぶ排泄孔を造る手術を受け、そこにストーマ装具を装着して排泄物を処理することとなった患者（オストメイト）の組織です。人間生存の基本的な生理作用である排泄を、健常者と異なる方法で管理しなければならないので、それが問題なく出来ることは私たちの人間としての尊厳にも係わることです。日本オストミー協会は 1969 年に設立され、1989 年に厚生省（当時）の認可を受け法人化され、2011 年内閣府より公益法人の認定を受けました。設立以来、同憂者が助けあいつつ運動を進め、身体障害者手帳の交付、各種福祉サービス、税法上の優遇措置などが受けられるようになり、オストメイトのスムーズな社会復帰と適切なストーマケア等に役立っています。

国と都道府県及び市区町村が経費を分担して実施して下さっている「日常生活用具給付事業」は、ストーマ装具と生涯を共にしなければならない我々にとって、最も重要な事業であり、これが適切かつ円滑に行われることは良好な QOL（生活の質）確保の基本です。

従って、また災害時にこれの供給が保証されることも、我々の生存にとって極めて重要であり、そのための事業も市区町村に進めていただいております。

また当協会では、オストメイトが外出時に排泄物の処理とストーマ周辺の洗浄に困らないよう、特別仕様の「オストメイト用トイレ」の設置ガイドラインを国に定めていただき、公共団体や鉄道・高速道路などの経営体のご理解を得てその設置が進んでおります。トイレの問題では、災害時においてオストメイトのニーズに応えられる仕様のトイレの用意も求められています。

しかしながら、「日常生活用具給付事業」の実施実態には明らかな差異が見られ、災害時に備えたストーマ袋などの装具供給体制の整備はいまだ多くの市区町村が取組んでおられません。この調査は、オストメイトの基本的な QOL 確保と社会生活上の適応に必須のこれら事業について、全ての市区町村を対象に平成 22 年に引き続き 2 回目の調査となります。この調査結果が、政府及び地方自治体の新たな総合福祉施策策定の論議に役立ち、我々オストメイトの福祉向上につながることを期待しています。

ご面倒をかけますが、別紙調査票にご回答を記入の上、同封の封筒にて、期限までにご返信くださるようお願いいたします。

返信期限：平成 29 年 2 月 10 日（金）

最後に、今後ともオストメイトの健康と福祉のためさらなるご理解とご協力をお願いするとともに、貴自治体のますますのご発展を祈念いたします。

敬具

オストメイトに対する
日常生活用具給付事業等に関する調査（回答用紙）
回答期限：平成 29 年 2 月 10 日

都道府県名 _____（ _____ 郡）市区町村名 _____

I. 日常生活用具給付事業

（解説）この事業は、平成 18 年 10 月に完全実施された「障害者自立支援法」によって、日常生活用具と規定されたストーマ袋等のストーマ装具の給付を、市区町村の事業として行うこととされました。その後、当協会支部の報告やストーマ装具販売店を通じた調査によると、市区町村により給付基準額、自己負担率及び給付品目等に顕著な違いが見られます。その違いを明らかにし、さらなる改善につなげることが本項の目的です。

問 1. 貴市区町村のストーマ袋給付基準額

消化器系（月額） _____ 円、 尿路系（月額） _____ 円

問 2. 患者自己負担（次の該当するものに○を付けてください）

- ① 自己負担なし
② 自己負担あり
③ 1割未満 ④ 1割 ⑤ 1割超 ⑥ 納税額区分による

問 3. 1 回当たりの給付月数 _____ か月分

問 4. 洗腸用具の給付（どちらかに○を付けてください）

- ① あり ② なし

問 5. ストーマ用品（付属用品）の給付（どちらかに○を付けてください）

- ① あり ② なし

（上記 4 及び 5 に関する注記：平成 18 年の制度改正以前は、洗腸用具はストーマ装具の代替品扱いとされストーマ装具との併給は認められていませんでしたが、同年の給付対象ストーマ装具等の見直しにより、併給を認める決定がなされました。同時に、ストーマ袋と洗腸用具以外のストーマ用品（皮膚保護ペースト・パウダー・ウェハー、固定ベルト、サージカルテープ、カバー、消臭剤、専用ハサミ、剥離剤、皮膚皮膜剤、コンベックスインサート、レッグバッグ、ナイトドレーナージバッグなど）も給付対象になりました。）

問 6. 高齢者入所施設等の入居者への給付（どちらかに○を付けてください）

- ① あり ② なし

（注：この点についても、「在宅」のオストメイトに限らず高齢者入所施設等の入居者も、上記全ての品目の給付対象にするとの国の基準・ガイドラインがあるにも関わらず、一部の市区町村において給付除外としているところが見られます。）

II. 災害時のストーマ装具などの供給体制整備

(解説) 多くのオストメイトが抱えている不安のひとつが、災害時のストーマ装具の確保です。当協会では、①「自助」：普段からオストメイト自身の自助努力で備えを怠らないようにすることを強調するとともに、②「共助」：災害時に行政サイドと連携しつつ、本部と被災地支部に装具業者を加えた救援体制のもと、被災したオストメイトに対して装具等の緊急供給などを行う体制を整備しています。これに加えて③「公助」の面では、国が平成18年に定めた「災害時オストメイト避難支援対策」を都道府県で具体化するよう要望を重ねています。その内容は、1) 避難所にストーマ装具を備蓄する「避難所備蓄/供給方式」と、2) 一次避難所となる公共施設などに個人専用の装具等を個別保管する「避難所個別保管方式」の確立です。この個別保管方式は、日常生活用具給付事業に携わっておられる方なら容易に解るように、オストメイトが使用する装具類は千差万別なので、自分用のものを保管しておけば安心というわけです。

問1. 貴市区町村の災害時ストーマ袋供給対策 (どちらかに○を付けてください)

- | | | |
|-------------------|------|------|
| 1) ストーマ装具備蓄 | ① あり | ② なし |
| 2) 業者との流通在庫供給協定締結 | ① あり | ② なし |
| 3) 個人使用装具個別保管 | ① あり | ② なし |

III その他コメント (上記の貴市区町村の施策に関し、今後の改善計画などコメントがあればご記入ください。)

以上の回答担当部署名 _____

回答記入担当者職・氏名 _____

連絡電話番号・E-mail _____

IV. オストメイト対応トイレの整備

(解説) オストメイトは外出時のトイレの使用に大変不便を感じています。それは、ストーマが腹部に造られているため、一般のトイレは勿論、障害者用トイレも大変使いづらいからです。幸い、当協会も当初の計画段階から参画した国の「バリアフリー対策」によって、全国の公共施設、公共トイレや高速道路SA、鉄道駅等に下記のようなマークを入口に掲げたオストメイトトイレが着々と整備されています。国は、平成23年度までの特別基金を設けて、地方自治体の公共施設へのこのトイレの整備を財政的に支援しました。



問1. 貴市区町村では、公共施設にオストメイトトイレを設置していますか。(どちらかに○をつけて下さい。) ① はい ② いいえ

問2. 上記質問で「①はい」の場合、どのような施設に設置していますか。設置施設の種類とオストメイトトイレの総数をご記入ください。

1) 設置施設の種類： _____

2) 該当トイレの総数： _____ 箇所

問2-2. 上記のトイレには、次のような設備が備わっていますか。(該当するものに、全て○を付けてください。)

- ① 汚物洗浄台 ② ハンドシャワー(ハンド吐水口) ③ 電気温水器(温水の出る設備) ④ 物置たな(ストーマ装具を置ける棚) ⑤ 鏡 ⑥ ペーパーホルダー
⑦ 水石鹸と消毒剤 ⑧ フック2か所(着替えハンドバック等を置ける台)
⑨ 足踏み開閉式ステンレス汚物入れ ⑩ 手洗い器 ⑪ベンチ又は低めのベッド
⑫ 衣服着替え台 ⑬ 入口のマークと解説

問3. 「②いいえ」の場合、今後公共施設にこのトイレを設ける計画はありますか。

- ① ある (具体的にどのような施設に： _____)
② ない

V. 災害時オストメイトの避難対策

災害発生時のオストメイトの避難に関しましては、1) オストメイトが避難する事が想定される避難所には、オストメイト対応のトイレ設置をお願いしております。

また、2) ライフラインの復旧していない避難所へのオストメイト用トイレの備蓄、装具交換の可能なプライベートスペースの確保と設置を要望致します。これら「公助」の対策は、市区町村で具体的に対応していただくことの多いものですから、この質問項目を設けました。

問1: 貴市区町村では、オストメイトの避難所をどこに想定していますか。(次のいずれかに○を付けてください。)

- ① 福祉避難所 ② 一般の避難所
③ その他(具体的には、 _____)

問2：貴市区町村では、一般の避難所や福祉避難所に上記のような「公助」対策を講じていますか。

(次のいずれかに○を付けて、()にご記入ください。)

① 対応済みである。 ② 未対応 (具体的には、_____)

VI. その他コメント (上記の貴市区町村の施策に関し、今後の改善計画などコメントがあればご記入ください。)

質問IV, V, VIの回答担当部署名 _____

回答記入担当者職・氏名 _____

連絡電話番号・E-mail _____

質問は以上です。ご協力に感謝いたします。なお、本調査に関するお問い合わせは、下記にお願いします。

(公社) 日本オストミー協会 本部事務局
Tel. 03-5670-7681
E-Mail ostomy@joa-net.org

人工肛門・膀胱造設者の生活と福祉

第1部 第8回オストメイト生活実態基本調査報告書

第2部 オストメイトに対する日常生活用具給付事業
等に関する調査報告書

2019年3月25日 発行

編集・発行 公益社団法人 日本オストミー協会

〒124-0023

東京都葛飾区東新小岩一丁目1番地1号の901

電話 03-5670-7681 / FAX 03-5670-7682

E-mail: ostomy@joa-net.org

URL: <http://www.joa-net.org>

印刷 株式会社タキタ

〒321-0943

栃木県宇都宮市峰町 314-23

電話 028-637-1818

● 無断転載・複写・複製を禁ず

